

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	あさり・あわび稚貝放流委託事業					開始年度	
基本目標	活力ある水産業の振興					終了年度	
担当課(局)	産業振興課	担当係	農林畜産係	記入者	山本 勇樹	評価者	長町 信幸
21年度決算	150	千円	22年度予算	150	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	1,437 千円		22年度人件費	1,457 千円		事業従事者数	0.20 人 0.20 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	あさり、あわび稚貝を蚊口浜に放流することによって、蚊口浜に生息するあさり、あわびの増加を図り、沿岸漁業の振興に資することを目的とする。
事業の内容	蚊口浜において、あさり165kg、あわび稚貝5.7kgの放流を委託する。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 収量の安定	放流を実施することで生息数の拡大を図り、収量の安定が図れる。
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 放流量(あさり)	あさり1回(4月)放流量の確認。
	2 放流量(あわび)	あわび1回(11月)放流量の確認。
	3 -	-

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度	
成果指標	収量の安定	目標値	-	-	8	
		実績値	-	-		
		達成率	%	#VALUE!	#VALUE!	
		目標値	mg/l	-	-	2
		実績値		-	-	
		達成率	%	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標	放流量(あさり)	目標値	kg	240	165	165
		実績値		240	165	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	放流量(あわび)	目標値	kg	6	6	6
		実績値		6	6	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	-	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	高鍋町カキ生産組合も本事業と併せて同量以上の自主放流を実施することで受益者による費用負担も行われており、事業目的からみても町が行う事業として適切と判断できる。事業を廃止した場合、あさり、あわびの増殖はまず見込めず、貴重な水産資源の減少が懸念される。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	放流成果について、具体的な数値は把握できていないが、実際に海に潜り、状況を把握している組合の意見では、あわびの増殖及び定着化を確認している。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	増殖を目的とするならば、現行以上の放流数量が望ましいが、予算の範囲内での放流数量に留めており、これ以上の削減は困難。
協働性	◎町民との協働の可能性があるか(ボランティア・NPO等)	特になし

事務事業名	あさり・あわび稚貝放流委託事業	担当課(局)	産業振興課
-------	-----------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	蚊口浜の自然環境保全と沿岸漁業振興のために必要である。	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充				
			現状維持			○		
			縮小					
			廃止					
			廃止	縮小	現状維持	拡充		
			コスト					

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎蚊口浜の自然環境保全と沿岸漁業振興のために最低限必要と判断する。 ◎あさは泳いで別の場所に移動してしまうのではないのか。あわびだけではいけないのか。
	コスト	現状維持	